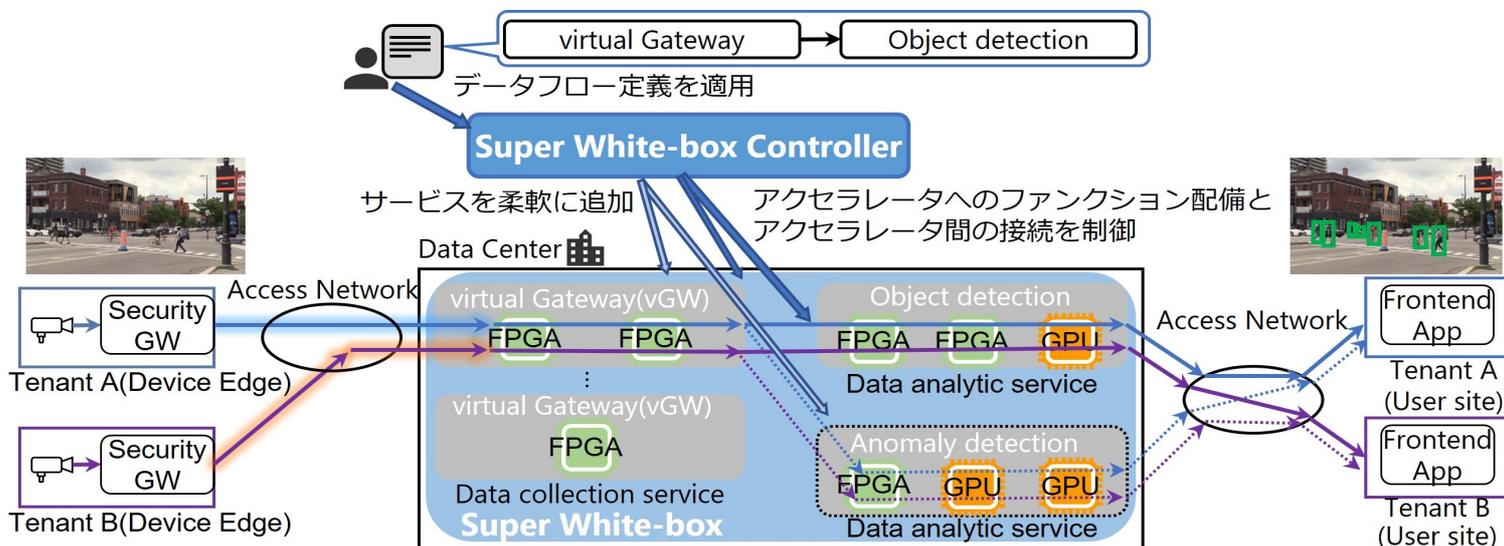


### 背景

データ処理システム導入には、データ収集とデータ分析の異なる専門知識を必要であり、大きな導入障壁となっています。さらに近年はデータ処理へのアクセラレータ活用が一般的となり、ハードウェアの知識も求められます。これらのノウハウを持つ人材育成は大きな課題です。

### 成果の概要

SWBコントローラ技術により、高度な専門知識を持たないユーザがアクセラレータを活用したデータ処理システムを容易に構成可能とします。コンセプト実装例として、セキュア伝送路のデータ収集と映像AI処理のデータ分析で構成したシステムを柔軟に構成可能としました。



### 技術のポイント

- 多様なアクセラレータにより効率化されたデータ収集と分析のシステムの組み合わせを柔軟かつ容易に構成可能
- コントローラとの連携により、転送要件に応じたネットワーク振り分け処理をオンデマンドに提供
- 映像AIのデータ分析処理やネットワーク処理に対して演算効率向上のためCPU非介入なアクセラレータ間の連携技術を適用

### この研究がもたらす未来

超強力汎用ホワイトボックスを電力効率の高いデータ処理基盤システムとして、スマートシティなどの膨大なセンサ情報を処理する社会基盤へ適用し、持続可能な社会の実現へ貢献します。

### コラボレーションパートナー

富士通株式会社

### 出展企業

日本電信電話株式会社

### 問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com